

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I有識者委員会
委員長 石田 東生

福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）に対する評価及び助言について

平成17年1月25日付で送付のあった福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）については、平成17年2月17日に当委員会を開催し、下記のとおり評価及び助言を行うことを決定しましたので、通知します。

記

1 評価

福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）は、適切であると判断します。

（評価の視点）

① 策定段階における市民等からの意見の反映

本実施計画については、案を策定する段階においてアンケートを実施するとともに、素案への意見募集の実施により市民等から意見を収集し、それらを実施計画案に反映させている。

② P I参加者と手法

ステップ1のP Iの目的は、福岡空港の現状や課題、空港能力の見極めなど、今後の検討にあたっての基本的な事項を市民等と共有することであり、これを達成するためには、幅広い参加者と、参加者に応じたP I手法が必要である。

本実施計画については、P I参加者として、地域住民をはじめ、空港利用者や関連企業などの幅広い参加者が想定されており、また参加者に応じた様々なP I手法が計画されている。

また、P I実施期間の中途において、パブリック・コメントによる意見の集約が行われる計画となっているなど、市民等が多様な形で意見を表明できる機会が設けられている。

③ 実施期間

P Iの実施について、事前に周知広報期間を設けたうえで、3ヶ月間に集中して行うことにより、市民等への情報浸透を図っている。また、P Iの時間管理についても配慮している。

④ 情報内容

提供する情報内容については、福岡空港の現状や課題、航空を取り巻く情勢、航空サービスの評価、空港能力の見極めなど、今後の検討において市民等が共有すべき基本的な事項となっており、ステップ1のP Iの目的に合致している。

2 助言

- (1) 情報入手方法として市民等からのニーズの高い報道メディアへの働きかけを積極的に行うこと。
- (2) 提供する情報の質と量を工夫し、市民等の関心が得られるよう配慮すること。
- (3) 市民等から収集した意見と、その意見がどのように反映されているか分かりやすく示すこと。
- (4) 意見の収集にあたっては、年齢、性別等の属性の把握も念頭に置きつつ、意見を出しやすいよう工夫し、幅広い層からの意見把握に努めること。